フランス語の形容詞 sale の意味用法に関する考察

山　本　大　地

0. はじめに

フランス語の付加形容詞の中には統語環境によって，すなわち名詞に対して後置付加するか前置付加するかによって意味が異なるものが多く存在する．ancien を例にとると un bâtiment ancien は「古い建物」であるのに対し，un ancien ministre は「元大臣」である．また propre の場合 les mains propres は「清潔な手」，son propre fils は「自分自身の息子」である．さらに des pays différents は「異なる国」だが différents pays は「様々な国」である．意味が異なるといっても，それぞれ後置付加と前置付加の意味の間に何らかのつながりがあることも見て取れる．

本稿で取り上げる sale もこうした形容詞の一つである．この形容詞に関して真っ先に思い浮かぶのは，なんらかの物体の付着，混入により対象本来の清潔さが失われた状態，すなわち汚い状態を表す用法である．他方色のくすみを指す用法，また卑猥な様相を示す用法，さらに放射能汚染された状態を指す用法もある．これらは名詞に後置された場合の用法であり，名詞に前置された場合，軽蔑や嫌悪といった主観的，感情的な意味合いを帯びるとされる．これらの用法に意味的なつながりがあることはやはり明らかで，その共通点をどのように捉えるか，そして後置付加，前置付加（また属詞位置）といった統語的な要因が意味のバリエーションにどのような役割を果たすのかは解明すべき課題である．また sale は名詞に対して前置する場合，adjectif de Qualité（Milner 1978），もしくは adjectif affectif（Marengo 2011）「情意形容詞」と呼ばれる，やや特殊な形容詞クラスに分類される[1]．特殊とされる理由はこのクラスに属する形容詞が前置付加においては通常の形容詞と異なる統語的振る舞いを示すためである．そして情意形容詞はより大きな形容詞分類において，品質形容詞と関係形容詞という二分法に当てはまらない第三の形容詞（le troisième type）に位置付けられる（Schnedecker 2002）．こうした形容詞クラスは比較的最近になって提案されたものであり，それらを認定すべきかどうか，また認定するとすればどのような性格付けを行うかは現在も議論が続いているところである[2]．本稿では，以上の問題に通じる事例研究として形容詞 sale の意味用法を記述することを目的とする．現時点ではこの形容詞そのものに関する論考は見当たらないため，まずはこれまでになされている記述を整理し，実際の使用例にまで観察を広げ，どのような意味のヴァリエーションがあるのかを確認する．またそれと同時に用法間の意味的なつながりを緩やかに把握することも試みたい．

本論に入る前に sale についての言及がある Blikenberg（1933）と，形容詞の意味記述という観点から，doux を扱った Franckel（2005）と bon を扱った伊藤（2004）を概観しておく．

1. 先行研究

1. 1. Blinkenberg（1933）

Blinkenberg（1933）はフランス語の語順を幅広く扱った著作であり，形容詞の位置と意味の関係についてもいくつかの形容詞を取り上げ記述している．その中で sale にもすこし触れており，次のように述べている．

(01) sale : opposition assez nette entre le sens de l'adjectif postposé（malpropre, impur）: linge sale, main sale, couleur sale, vaisseau sale, et celui de l'adjectif antéposé, où l'élément notionnel est très sensiblement affaibli, tandis que l'élément émotionnel est renforcé, plusieurs des combinaisons suivantes peuvent être regardées comme des cas pivots pour lesquels la nuance précise du sens est impossible à déterminer exactement : une sale affaire, une sale histoire, un sale temps...

[1] 本稿では Marengo の用語 adjectif affectif「情意形容詞」を採用する．一定の形容詞の前置付加用法を指しているため「～形容詞」という呼び名は必ずしも適切とはいえないかもしれない．しかしながら本稿では先行研究に倣っておく．

[2] 本稿を執筆中に，2017年９月７日から９日にソルボンヌ大学で行われた国際学会“Adjectivité”「形容詞らしさ」において，形容詞に一冊をささげた著書 *Adjectif entre nom et verbe* で有名な Jan Goes 氏も第三の形容詞が雑多な形容詞を含む形容詞クラスであることに言及し，通常の形容詞と区別する方法を議論の対象にしていた．

「sale：汚い下着，汚れた手，くすんだ色，汚い船といった後置付加の意味（不潔な，不純な）と，概念的な要素が著しく弱まり，感情的な要素が強められる前置付加の意味の間にはかなり明瞭な対立がある．次の組み合わせの多くは，正確な意味のニュアンスを確定することができない事例である：面倒な事態，厄介事，不快な天気 …」

（Blinkenberg, 1933 : 66）

Blikenberg は形容詞の後置付加と前置付加にみられる一般的な意味傾向が sale についても観察できることを述べている．確かにこのことは Blikenberg 以降も様々な形容詞に関して様々な研究者によって指摘されている．では一般的な意味傾向の中で sale という語彙がもつ固有の意味特性はどのように見出せるだろうか．とりわけ前置付加において感情的意味を強く伴う現象は他の情意形容詞（foutu, maudit, satané, sacré… 等）にも当てはまる．そこにそれぞれの語彙的な個性を見出せるか，見出せるとすればどのようなものか，という疑問が浮かぶ．

1. 2. Franckel（2005）による doux の分析

Franckel（2005）は意味記述の方法論を扱う上でいくつかの語，表現，文を取り上げ，その一事例として doux の意味記述も試みている．この形容詞は辞書において « qui a un goût faible ou sucré »「薄い，もしくは甘い味がする」という項目がはじめにある．しかし climat très doux「とても穏やかな気候」や pente douce「なだらかな坂」といった例をみればわかるように doux それ自体が味を含意するわけではない．また味に言及する場合でも甘いという特徴をもつとは限らない．例えば eau douce「淡水」は「薄い」わけでも「甘い」わけでもなく「塩分を含まない」水である．こうしたそれぞれの解釈は doux という形容詞それ自体から得られるのではなく，また組み合わさる名詞から得られるのでもなく，両者の相互作用によって生まれるのだという．

pente douce「なだらかな坂」に対して angle doux「なだらかな角度」は不可能である．また douce pluie「優しい雨」に対して douce neige「優しい雪」が不自然であり，douce grêle「優しい雹」はさらに不自然である．douce grêle「優しい雹」を解釈するためには雹が何らかの効能をもつと考えなければならない．douce maison「優しい家」や doux foyer「優しい家庭」は即座に理解しにくいが，快適，安全，温かいと感じるような家を想定できるという．

こうした例の検討を通じて Franckel は次のような仮説を立てる．doux が修飾するものは感覚（sensation）の領域にある．すなわち N は主体の内的な状態（心理状態）に何らかの影響をもたらす（可能性がある）ものであり，doux はその影響を修飾する．このように考えるならば修飾されるのは N の内在的な特性ではない．texture très douce「とてもなめらかな素材」を例にとると，この場合 doux は（lisse「なめらかな」のように）直接素材に言及するのではなく人がそれを触るときの感じ方を述べているのである．具体的にどのように修飾するのかは次の通りである．doux を用いることで N は主体の内的な状態を変質させる恐れがありながら実際には変質をもたらさないもの，として構築される．N は主体の内的状態のバランスを保つものであり，« n'heurte pas »「傷つけない」，« n'agresse pas »「侵害しない」，あるいはより一般的に « ne provoque aucune sensation saillante »「顕著な感覚をもたらさない」という否定による注釈で理解できるような価値を得ることができる．

以上の分析に関して sale の分析にも有効であると思われるのは doux の意味を捉える上で「主体」というものを考慮に入れている点である．わかりやすい例として pente douce「ゆるやかな坂」をとろう．それが意味するところは「傾斜が弱い坂」だが，doux という形容詞が直接「傾斜が弱い」という性質を指示しているのではなく，坂を上る主体への影響（坂を上るのは辛いものだが，当該の坂は辛い感覚を引き起こさない）を修飾し，その結果「傾斜が弱い」という性質として解釈されるということである．

1. 3. 伊藤（2004）による bon の分析

同様に，形容詞の意味分析に主体を取り入れた研究として伊藤（2004）がある．それによると，bon は主体が N の諸領域に関連して何らかの利益を期待できる対象として N を作り直すという．例えば un bon gigot「美味しいもも肉」と une bonne oreille「卓越した（音楽的）聴覚を持つ耳」では bon の意味は異なるが，それは主体が N に対して抱く期待が異なるからである．un bon gigot「美味しいもも肉」を例にとると，gigot「もも肉」は食べ物であり，主体は食べ物に対し味覚的な喜びを期待する．それに対し，une bonne oreille「卓越した（音楽的）聴覚を持つ耳」の場合，主体は聞く機能に関する期待を構築する．un bon chirurgien「腕の良い外科医」と un bon chrétien「模範的なキリスト教徒」では bon の意味は異なるが，その理由は外科医に対しては主体が職業的な技術を期待するのに対し，キリスト教徒には社会的な理想化されたイメージが期待として構築されるからである．なお伊藤も N が bon の解釈に影響を与えるだけでなく bon も N の解釈に影響を与えるという相互作用を指摘する．例えば maison は住居の意味がまず思い浮かぶが，une bonne maison は「信頼のおける店」を表す．このように bon と N の関係は双方向的であるという．

sale を分析する上で，あらゆる用法について主体を考慮する必要があるかどうか現時点ではまだはっきりしな

い．しかし大部分の用法，とりわけ前置付加の用法を捉える上では欠かせない視点であると思われる．

2．辞書の記述

最もわかりやすくまとめられている小学館ロベール仏和大辞典が提示する用法とその例を中心に挙げ，各用法のより詳しい記述として Grand Robert（以下 GR）および Trésor de la Langue Française informatisé（以下 TLFi）を適宜参照することにしよう．

⑵ ①汚れている « avoir les mains sales »「よごれた手をしている」
②薄汚い « Il est sale comme un peigne. »「彼はひどく汚らしい.」
③くすんだ « une couleur sale »「くすんだ色」
④けがらわしい，みだらな « raconter des histoires sales »「猥談をする」
⑤手を汚しやすい，体の汚れる « faire un travail sale »「体の汚れる仕事をする」
⑥放射能汚染の激しい « une bombe atomique sale »「汚染の激しい爆弾」

上記の①～⑥はおもに名詞に対して後置付加・属詞位置を占める場合の用法である．①と②は物理的な汚れが問題となっている．GR はこの用法について以下のように説明している．

⑶ Dont la netteté, la pureté est altérée par une matière étrangère, au point d'inspirer la répugnance, ou de ne pouvoir être utilisé de nouveau sans être nettoyé.
「嫌悪を催し，きれいにしなければもう一度使えないほどに，その明瞭さ，純粋さが異物によって損なわれた（状態）」

この記述はすこし抽象化することで，他の用法を理解する上でも有効になる．①と②で「異物」にあたるものは「垢」や「泥」といったまさしく汚れと呼べるものが想定できる．他方③の「くすんだ」という意味では必ずしも汚れに言及しているわけではない．TLFi が挙げる例 ciel sale「くすんだ空」や cheveux d'un blanc sale「くすんだ白髪」を見れば，汚れが問題になっていないことは明らかである．しかしながら異物と呼べそうなものを見出すことはでき，前者では「雲」が，後者では「黒髪」がそれに相当する．④は①から③と異なり，物理的な性質が問題になっていない．話の性的な内容が，より抽象的なレベルで「異物」に相当するとみなすことができる．またそれを汚らわしいと捉える主体の見方も反映しているように思われ，性的な内容を耳にすることによって汚されたと感じる主体の側への影響があるともいえるかもしれない．⑤は仕事の内容が不潔であることを述べると同時にそれを行う主体を汚す側面にも言及していることがよりわかりやすい．⑥で問題となっているのは通常の汚れでなく放射能汚染である．放射能汚染は人体に極めて有害なものであり，やはりそれに関わる対象に与える影響（被曝）も感じ取ることができる．その点で④や⑤に通じるものがある．なお，本稿で参照している辞書には挙がっていないが，常用表現として使用される argent sale「汚い金」も指摘しておこう．これは例えば犯罪等の非合法的な手段で得た金を指す．この場合，異常な手段で取得したことによって金本来の価値が損なわれている（そのままでは使用不可能）と解釈できる．使用するには blanchir de l'argent sale「汚い金を白くする」（資金洗浄する）必要があるのである．

続いて前置付加用法を検討しよう（便宜上，番号の色で上記の用法と区別する）．

⑷ ❶卑劣な，軽蔑すべき « un sale individu »「ひどいやつ」[3]
❷嫌な，不愉快な，厄介な « jouer un sale tour à qn »「…にひどい仕打ちをする」
❸醜い « cette sale petite écriture »「このいじけた汚い筆跡」
❹破廉恥な，嫌らしい « un obscène et sale maintien »「卑猥で嫌らしい物腰」
❺（見出しなし）« sales maladies »「性病」

これらの用法を見て気づくことは，後置付加・属詞位置の用法で確認できた「異物」というものが一見特定しがたく，その状態が損なわれていると捉えづらいことである．前置付加用法ではむしろ，④⑤⑥の用法で感じ取れた主体への影響が前面に現れているといえる．❶をみてみよう．この sale について GR は « Qualifiant des personnes que l'on condamne, que l'on méprise »「非難する，軽蔑の対象となる人を修飾して」，TLFi は « Qui est digne de mépris »「軽蔑に相当する」と注釈しており，その行為，振る舞いによって接する人に不快な気持ちを引き起こす人間を指すといえる．❷は人に対して望ましくない結果を引き起こす事態，行為を指す．用例の観察は次節で行うが，小学館ロベール仏和大辞典の « jouer un sale tour à qn » は理解の助けにならないので，文脈を伴った un sale tour の例を一つ挙げておこう．

3 日本語の「汚い」は卑怯な性格を表す用法があるが，sale individu は必ずしも卑怯な性格を表すわけではない．

⑽ Et c'était la dose qui soi-disant m'était réservée, il n'y en avait point d'autre. J'étais retourné dans la ville des anges pour des prunes, tintin le vaccin ! On m'avait joué un sale tour.

（H. Guibert, *Le protocole compassionnel*, 2007）

「自分のためにとってあるといわれていた薬がもうまったくない．天使の街に無駄に戻ってきたのに，ワクチンなんてありゃしない．ひどい仕打ちをされたものだ．」

この例での un sale tour は自分のためのワクチンを他人に使われてしまった事態を指している．話者はそのせいで自分の病気を治癒できないという困った状況に陥ることになる．❸は字の歪みが問題になっている．その歪みによって変質を受けた字であると捉えることができ，この用法には後置付加用法に当てはめた説明を適用できる．なお日本語においても字に関しては「汚い」を用いることができ，前置付加では最もきれいに日本語と対応する用法である．また，外見の醜さを表すと同時に，字に対する嫌悪感も読み取ることができるのではないだろうか．❹は後置付加・属詞位置の④「けがらわしい，みだらな」の用法に類似しているが，❹では必ずしも性的な振る舞いを述べているとは限らず，人が嫌らしいと感じる印象が前面に現れているように思われる．❺は性的な関係によって感染する病気のことだが，sale maladie は必ずしも性病を指すわけではない．例えば癌は sale maladie と形容される病気の代表である．癌は完治が難しく患者に苦しみを与え，多くの場合人を死に至らせる．sale maladie は癌のそうした厄介な側面を捉えており，この場合❷の用法に分類可能である．最後にロベール仏和大辞典には見出しとしては挙がっていないが，sale の前置付加に特徴的な用法として，侮辱語に伴う用法があることを指摘しておく．GR が il renforce l'ignominie「屈辱を強める」，TLFi が Terme d'injure; sale renforçant l'injure raciste「侮辱語，sale が人種差別的な侮辱を強めて」と説明する用法である．con「馬鹿」のような罵倒語だけでなく，TLFi が述べるように特定の国籍，民族に対して使用されることもある．

以上，辞書の例と記述を借りつつ sale の用法全体を概観した．後置付加の意味は概ね「異物によってそのあるべき姿が損なわれている」（N の状態）というように理解することができる．それに対し前置付加の sale は N が人に与える影響のほうが色濃く現れている．このような側面は後置付加・属詞位置の④⑤⑥からも感じ取れるが，前置付加用法においてはそれが前面に出ているといえよう．Blinkenberg（1933）が指摘するように，後置付加・属詞位置の sale に比べ前置付加の sale は正確な意味のニュアンスを捉えがたいことは確かだが，その一方で共通の意味合いが漠然と浮かび上がってきているようにも思える．

以下では前置付加の sale の意味をさらに具体的に把握するため，観察の対象を実際の用例にまで広げてみよう．

３．用例の観察

sale の意味価値は限定詞によって影響を受けるように思われるため，名詞句に伴う限定詞ごとに検討することにする．ただし，指示形容詞名詞句，無冠詞名詞句，所有形容詞名詞句については十分検討するに至っていないため，ごく簡単に触れるのみであることをあらかじめ断っておく．

3. 1. un sale N

un sale état「ひどい状態」から検討をはじめることにしよう．

⑽ a. L'attentat s'était produit le 28 mai 1974 à Brescia, dans le nord de l'Italie. Huit morts, des dizaines de blessés, dont certains dans un sale état.

（S. Osmont, *Éléments incontrôlés*, 2012）

「テロは1974年５月28日イタリアの北，ブレシアで起きた．死人八名，けが人十数名，そのうちひどい状態の者もいる．」

b. “Il y a pas mal de jeunes, et on voit revenir à la pêche des gens qui avaient arrêté, parce qu'on comprend mieux notre politique de protection sur les têtes de bassin. Si on n'avait pas été là pour s'occuper des rivières, elles seraient dans un sale état aujourd'hui.

（*Midi libre*, 2016年３月12日）

「若者がかなりいるし，釣りをやめていたものが再び戻ってきているのがわかる，我々の池の源泉の保護政策を理解しはじめたからだ．もし我々が川を手入れしなければ，今頃川はひどい状態だっただろう．」

a の un sale état は負傷者が命に係わるような状態にあること，すなわち重体（état critique）であることを述べている．b では川の汚れがひどい状態を指している．どちらも mauvais état「悪い状態」に近いが，sale は mauvais よりもずっと損傷が激しい状態を表す．この用法では，本来あるべき姿（健康状態，川の清潔な状態）が怪我，汚染といった異常（異物に相当する）によって損なわれていると捉えることができ，後置付加・属詞位置用法との接近が容易である．次の une sale gueule「ひどい顔」も同様に捉えることができる．

⑺ - Qu'est-ce que tu fous là ?「どうしたんだ？」
- Je suis venu boire un café.「コーヒーを一杯飲みに来たよ.」
- Dis donc, t'as une sale gueule...「おや，ひどい顔してるな.」
- Fatigué...「疲れてんだ…」

avoir une sale gueule は二日酔い，疲れ，悲しみなどによって醜くなった表情を指すことが多い. つまり肉体的，精神的な異常によって表情がゆがんでいるということである．醜さに通じるという点では❸の用法に分類してもよいかもしれない．ところで avoir une sale gueule は別の解釈も可能である．GR は antipathique「感じの悪い」（人相）と注釈し，TLFi は antipathique に ne pas inspirer confiance「信用できない」（人相）も加えている.

そこで同じ身体部位を用いた un sale œil「きつい目」をみてみよう．この名詞句は敵意のある目つきを指す．次の a では嫉妬から同僚が話者に対してうらめしい目つきを向けていることを表しており，b では新聞を投げ捨てたことでそこにいた車の運転手が話者に対して非難の視線を向けていることを述べている.

⑻ a. Lorsque j'ai pris le dossier, j'étais gardien de la paix. Certains de mes collègues ont vu d'un sale œil que je parte en mission. Une mission était considérée comme le privilège réservé aux commissaires et chefs de groupe.
「その書類を手にしたとき，私は警察官だった. 同僚の中には私が任務に出るのを鋭い目つきで見るものもいた．任務は警視とグループのリーダーに限られた特権としてみなされていたからだ.」
b. J'ai jeté les boules de journal froissé dehors. Un automobiliste m'a regardé d'un sale oeil. Vas-y, fous-moi une amende, j'ai pensé. Si j'avais eu le képi sur la tête, il aurait regardé ailleurs.
「私はくしゃくしゃにして丸めた新聞を外に投げ捨てた. ある運転手が私を鋭い目つきで見た. ほら罰金でもくれてみろよ，と思った．もし私が憲兵の帽子でも被っていたら彼は知らん顔をしていただろう.」

類例に un sale regard を挙げることができる．次の例も「怒りの涙」と記述があることから敵意のある視線を述べていると考えてよいだろう.

⑼ Ma montre! Mes papiers! il glapit.「時計！書類，と彼は叫んだ.」
- Je te les rendrai quand tu reviendras.「戻ってきたら返してやるよ.」
Il a un sale regard. Des larmes de colère au bord des yeux.「彼は鋭い目つきをしている．目に怒りの涙を浮かべて.」

このように，un sale œil，un sale regard にはその目つきを受け取る主体への強い影響を読み取ることができる．そこで avoir une sale gueule の「感じの悪い」という解釈を見直してみると，やはり攻撃的な印象を与えるという意味で同じように捉えることができる.

ところで une sale gueule は「醜い」という解釈が可能であることを先に述べたが，同じ身体部位を用いた un sale œil は「醜い目」という解釈が不可能である．そして反対に un sale nez は「醜い鼻」という解釈しか得られない．このように，組み合わさる N は sale の意味に作用するといえる．また œil は体の一部である「目」を表す名詞だが，un sale œil では「目つき」という意味に限定されることから，sale も N の意味に作用しているといえそうだ.

次に un sale moment / un sale quart d'heure「辛い時間」をみてみよう.

⑽ a. Et puis tous les nationalistes ukrainiens et galiciens sont sortis des forêts, enfin, Dieu sait où ils se cachaient, et ils sont un peu énervés. Les Juifs vont passer un sale quartd'heure.
（J. Littell, *Les Bienveillantes*, 2006）
「それからすべてのウクライナとガリシアのナショナリストたちが森から出てきて，というか彼らがどこに隠れているかはわからないが，彼らはすこし苛立っている．ユダヤ人はきつい時間をすごすことになるだろう.」
b. Ce matin, sur le plateau de Jean-Jacques Bourdin, Myriam El Khomri a passé un sale moment. Incapable de répondre à la question du nombre de renouvellements de CDD possibles, la ministre du travail a été prise en défaut.
（*Closer*, 2015年11月５日）
「今朝ジャンジャックブーダンの番組でミリヤムエルコムリは嫌な瞬間を過ごすこととなった．非正規雇用の契約の可能な更新回数の質問に答えられず労働大臣は失態を世間にさらしてしまった.」

a において un sale quart d'heure はウクライナとガリシアの民族主義者たちにおびえて過ごさなければならないという，ユダヤ人が味わう苦痛の時間を述べている.

b の un sale moment は労働省の大臣であるにも関わらず，非正規雇用の契約について可能な更新回数を答えることができなかったことで，この大臣が経験した気詰まりな時間を述べている．いずれも sale は一定の時間が主体（a ではユダヤ人，b ではミリヤムエルコムリ）にもたらす感覚を反映している．

次の un sale goût は「苦い味」とでも訳すことができ，elle「彼女」の苦しい心情を，苦い味が人に与える不快な感覚に喩えている．

⑾ La tête brinquebalée contre la vitre, elle avait rêvé de Miguel. Le souvenir lui laissait un sale goût dans la bouche.
「頭をガラスに揺すり当てながら彼女はミゲルのことを思い浮かべた．思い出は彼女の口に苦々しい味を残していた．」

次の例は un sale coup「きついダメージ」の例である．

⑿ Quand la chaleur fait un sale coup
Cette semaine, sur l'ensemble du territoire, les températures flirtent avec les 35 ℃. Or l'exposition à de fortes chaleurs constitue une agression pour notre organisme. Lequel ne parvient plus, parfois, à se refroidir. C'est le coup de chaleur. Une urgence vitale !
（*La Dépêche*, 2016年 7 月19日）
「暑さがきついダメージを与えるとき
今週は大陸全体で気温が35度ぐらいまで上昇します．激しい暑さにさらされると体に害が及びます．体はときに体温を下げることができなくなります．暑さのダメージです．生命にかかわる切迫した問題です！」

暑さに関する記事の見出しで un sale coup が使用されている．記事の内容からも読み取れるように，この例の un sale coup は暑さが人間にもたらす悪影響を表すものである．

少しまとめると sale の前置付加にも後置付加・属詞位置の場合同様，「異物によってそのあるべき姿が損なわれた状態」と分析できる用法（例えば un sale état「ひどい状態」）がある．しかしながら大部分の用法に一貫しているのは，N のほうからの主体への影響である．例えば，un sale œil は敵意のある目つきであり，それはつまり主体を脅かすような（menaçant）目つきと捉えることができる．主体を S と表記し « qui menace S »「S を脅かす」とすれば，より主体への影響を明示できる．同じように un sale quart d'heure の sale は « qui fait de la peine à S »「S に苦痛を与える」，un sale moment は « qui met mal à l'aise S »「S を気詰まりにさせる」等と注釈できる．un sale coup は « qui blesse S »「S を傷つける」とでも表すことができる．

このような観点からもう少し例を記述してみよう．前節で une sale maladie について代表的なものは癌であると述べたが，次の例では喘息を指している．

⒀ -Vous connaissez l'asthme ? C'est une sale maladie, une vraie saloperie. La crise arrive sans crier gare et vous étouffez. Pour bien respirer, il n'y a que la station verticale, et comme les crises sont très fréquentes la nuit, les asthmatiques se lèvent.
（A. Page, *Tchao pantin*, 1982）
「喘息をご存じだろうか．面倒な病気で本物の厄介ものだ．発作は突然起きて苦しい．呼吸するには直立姿勢しかない，発作は夜頻繁なので喘息患者は立っていなければならない．」

喘息にかかると「突然発作が訪れ息苦しくなる」「発作は夜寝ているときに生じる」といった，様々な面倒が患者に引き起こされる．une sale maladie における sale はそうした性質を一言でいい表している．sale の解釈は « qui embête S »「S をうんざりさせる」，« qui cause des ennuies à S »「S に面倒を引き起こす」等と表現できる．une sale maladie を une vraie saloperie といい換えていることも示唆的である．saloperie 自体 « Chose qui peut causer du mal ou du désagrément. »「苦痛や不愉快を引き起こすもの」（TLFi）という sale に通じる意味を備えている．

sale は toux「咳」にも結び付く．une sale toux「嫌な咳」はなかなか治らない，しつこい咳を喚起する．なお une sale toux「嫌な咳」に比べると un sale éternuement「嫌なくしゃみ」は自然さが劣るようである．咳に比べくしゃみは厄介なイメージを喚起しにくいためだろうか．un sale rhume「厄介な風邪」もただの風邪と異なり，長引く風邪を思わせる．une sale toux，un sale rhume ともに « qui gêne, perturbe S »「S を邪魔する，妨害する」とその解釈を注釈できる．興味深いことに grippe「風邪」と組み合わせた une sale grippe はしつこいというよりも une forte grippe に近く grippe のひどさを強調するように感じられるというフランス語話者もいる．

前節で❷の用法「嫌な，不愉快な，厄介な」の例として « jouer un sale tour à qn »「…にひどい仕打ちをする」の実例を挙げたが，類例に une sale affaire「面倒な事態」，une sale histoire「厄介事」等がある．いずれもそれによって主体が不利益を被ることになるような N を述べる際に使用される．

⑭ - Je peux pas tout t'expliquer. Je suis dans une sale affaire, Marie-Lou. Tu l'as compris, hier soir. Les choses vont se compliquer.
（J.-C. Izzo, *Total Khéops*, 1995）
「すべては説明できないけど面倒な事態に巻き込まれているんだ. 昨日の夜わかってくれただろう. 事態は複雑になりそうだ.」

この例では une sale affaire に巻き込まれていることで話者が危険な目にあう可能性があることを述べている．TLFi の « Qui a des conséquences fâcheuses, très désagréables »「厄介でとても不快な結果をもたらす」という解説がうまく当てはまる．明示されていないが，そのような結果の影響を受ける主体が存在することも付け加えておこう．

次の une sale tournure も類例であり，危険な，あるいは人を不安にさせる（« qui inquiète S »）事態の成り行きを思わせる．

⑮ « Venez à nous, petits merdeux, on vous a réservé une surprise ». J'ai senti, cette fois, que la situation risquait de prendre une sale tournure.
（S. Osmont, *Éléments incontrôlés*, 2012）
「「こっちに来いがきども，サプライズを用意してやったぞ.」（と敵がいっているかのようで）今度は事態が怪しい成り行きになりそうなのを感じた.」

ここで，辞書に挙がっていた sale individu とほぼ同じ意味をもつ sale type「嫌なやつ」をみてみよう．sale individu はすでに述べたように GR で « Qualifiant des personnes que l'on condamne, que l'on méprise »「非難する，軽蔑の対象となる人を修飾して」と説明されており，TLFi には « Qui est digne de mépris »「軽蔑に相当する」とある．用例を観察すると，当該人物の，人をうんざりさせる側面が取りざたされていることがわかる．

⑯ - Et où habites-tu ?「どこに住んでいるんだい？」
- Par là（geste）.「あっちよ.」
- Et pourquoi pleurais-tu tout à l'heure sur le banc ?「なぜさっきベンチで泣いていたんだい？」
Zazie répond pas. Il commence à l'emmerder, ce type.「ザジは答えない．ザジはこの男にうんざりしはじめた.」
- Tu es perdue, hein ?「迷子になったんだろ？」
Zazie hausse les épaules. C'est vraiment un *sale* type.「ザジは肩をすくめた．本当に嫌なやつだ.」
（R. Queneau, *Zazie dans le métro*, 1959）

地の文であるが « C'est vraiment un sale type. » はザジの声であると考えてよいと思われる．ザジがこの男を un sale type と描写する理由はこの男性がザジにしつこく話しかけ，ザジをうんざりさせているからである．

なお，子供について使用される sale gosse「悪ガキ」は TLFi によると Enfant insupportable, mal élevé, qui gêne, dérange「耐えられない，育ちの悪い，人を困らせる，迷惑をかける子供」と解説されている．いたずらをしたり，いじめをしたり，わがままをいったりといった子供に特徴的な行為が思い浮かぶ．映画の解説における次の例では，同じクラスメートの男の子をいじめた「悪ガキ」を指している．

⑰ La première journée se passe mal, elle humilie tout le monde par ses prouesses en calcul mental. Et le lendemain elle casse le nez d'un sale gosse qui s'en est pris à plus petit que lui.
（*Le temps*, 2017年 9 月13日）
「初日はうまくいかず，彼女は見事な暗算でクラスメートに劣等感を与えた．翌日は自分より小さい子をいじめた悪ガキをぶん殴った.」

ところで sale は外見の醜さに言及する❸の用法をもつが，un sale type は外見の醜さには言及できないことも指摘しておこう．これは laid や moche との大きな違いである（un type laid / moche「醜い男」）．

本節の最後に天候に関わる表現に触れておきたい．まず un sale temps「嫌な天気」は人が不快に思うような天気を喚起し，基本的に雨天を指す．また pluie「雨」自体 sale と結び付くことがある．une sale pluie は雨の中でも une pluie froide「冷たい雨」, une pluie fine「細かい雨」, une pluie tenace「しつこい雨」といった雨が思い浮かび，雨を知覚する主体の気をめいらせる，うんざりさせる雨である．次の例では秋，11月に特有の，なかなかやまない雨であることが明示されている．

⑱ a. La pluie n'arrêtait pas, une sale pluie de novembre, les pavés de la cale glissaient et elle tomba.
（M. Carcenac, *Le trésor de Désesquaux*, 2006）
「雨は降りやまなかった．11月の鬱陶しい雨だった．石畳は滑りやすく彼女は転んだ.」
b. Mais avec ce congé j'avais tout à coup du temps et je me mis à penser. De plus c'était l'automne, une sale pluie grise dénudait les arbres, je sombrai lentement dans l'angoisse.
（J. Littell, *Les Bienveillantes*, 2006）
「しかしこの休みで突然時間ができて，考え始めた. おまけに秋で鬱陶しい雨が木々の葉を落とし，

私はゆっくりと不安に沈んでいった.」

ここまでの考察をまとめよう．sale は多くの場合，主体になんらかの影響を与える N を述べている．その影響は様々で，苦痛，気まずさ，おびやかし，不快，うんざりといった感覚を与えるものである．後置付加・属詞位置用法と対照的に，N は変質（altération）を被る側ではなく主体に変質（感覚的な変質）をもたらす側にあるという見方もできる．なお Franckel が分析した doux と同様，sale が修飾しているのは感覚の領域にあるといえるが，N が主体に与える影響は「顕著な感覚をもたらさない」という特徴をもつ doux と真逆であるといえよう．

3. 2. le sale N

不定冠詞付き名詞句に現れる sale と定冠詞に伴う名詞句に現れる sale の間には大きな違いは今のところ見当たらないが，一つだけほぼ必ず定冠詞が使用される名詞句として le sale boulot を挙げることができる．後置付加・属詞位置用法の⑤の un travail sale「体の汚れる仕事」とは別物であり，直訳の「汚れた仕事」ではこの名詞句の意味を理解することができない．この名詞句が表すところを例を通じて理解しよう．

⑲ Et sur ce point le gouvernement turc pourrait se montrer prêt à faire le sale boulot : renvoyer les migrants chez eux.

（*l'Humanité*, 2016年３月７日）

「この点についてトルコ政府は汚れた任務を果たす姿勢をみせることができるだろう．移民を彼らの国に送り返すという任務を.」

この例では移民を国に送り返すとい役目を他の国に代わってトルコが担うことを述べている．このような行為は非人道的で一般に人から非難される行為であり，その仕事を行う主体は軽蔑の対象となりえる. しかしながら，le sale boulot は必ずしも軽蔑の対象となるような任務を指すわけではなく，次のようにスポーツのチームにおける重要な役目についても使用される.

⑳ Horace a accepté de tenir un rôle ingrat en sachant très bien que personne ou presque ne remarquerait son abattage. Il est là pour faire le sale boulot. Il est indispensable. Que Michael marque 40 points et que Scottie en plante 30, c'est bien. Mais nous ne pourrons pas gagner si Horace ne fait pas son job sous les panneaux.

（Basket USA, 2013年７月４日）

「ホラスは誰も，あるいはほとんど誰も彼の努力に気付かないだろうことをよくわかったうえで，報われない仕事をすることを受け入れた．彼は雑務をするためにいる．彼は必要不可欠だ．マイケルが40点決める，スコッティが30点決める，いいことだ．しかしホラスがゴール下で自分の仕事をしてくれなければ我々は勝てないのだ.」

この例の le sale boulot が指しているのはディフェンスが行うような地味で肉体的に辛い役割であり，必ずしも軽蔑のような生理的に拒絶される性質を指しているわけではない(実際この文脈でもこの役目を果たす選手は「不可欠」なのであって評価されている)．家庭において例えば妻が夫に C'est toujours moi qui fait le sale boulot. というとき、掃除、料理、洗濯といった家事を指している．また，会社においてはコピーやコーヒーメーカーの手入れといった雑用を想起させる．いずれも地味で損な役回りという印象がある．le sale boulot はしばしば se taper や se coltiner といった辛い仕事を引き受けることを含意する動詞を伴う．どの場（世界，スポーツ，家庭，会社）においても人が好んで引き受ける役目もあれば人が嫌がる役目もあり，le sale boulot は後者を指す．そしてそれは一般的なイメージとして，あるいはステレオタイプ的に，共通して人が思い浮かべる種類のものである．このような共有性は定冠詞が生み出す意味効果と考えられる．なお日本語の中で近い表現は「貧乏くじを引く」かと思われるが，文脈によってずれる場合もある.

3. 3. ce sale N

まだ十分検討できていないが，指示形容詞とともに現れる sale はこれまでと異なる特徴をもつように思われる．まず N が影響を与える主体が話者である場合が多いこと，そして sale が N を特徴づけるというよりも話者の N に対する感覚が表出している印象が強いことが指摘できる．これまでの例の un sale état, un sale moment, une sale maladie, un sale type 等において sale は主体の感覚を反映すると同時に，広い集合を表す N と組み合わさってより狭い集合の N を表している．それに対し次例の ce sale tchadour「あの汚らわしいチャードル」において sale は集合を限定する役割はなく，ただ話者の嫌悪感のみを表しているように感じられる.

㉑ Elles descendirent du bateau, désespérées, abandonnant les robes parisiennes et les chapeaux pour revêtir le tchadour des femmes musulmanes, [...] elles éclatèrent en sanglots: « Nous ne savions pas comment le tenir, ce sale tchadour. »

（H. Hoppenot, *Journal 1918-1933 : Rio de Janeiro* [...], 2012）

「彼女達は船を降り，パリのドレスと帽子を脱ぎ棄て，イスラムの女性のチャードルを着た [...] 彼

女達は泣きじゃくりながらいった.「どうやって着ればいいのかもわからなかった，あの汚らわしいチャードルを.」

« ce tchadour qui me dégoûte »「私をぞっとさせるこのチャードル」という注釈が可能であるが，関係節以下の部分は tchadour という集合（指示範囲）を限定しているのではない.

次例も同様で，sale はすごろくという集合の中でより限定されたすごろくについて言及しているのでないことは確かである．当該のすごろくに対する話者の不快感をいきいきと表現する役割を担っている.

⑵ [ニコラの父の上司がニコラにプレゼント（すごろく）をくれたので，ニコラの父は御礼の手紙を書くようにいう．一方ニコラは電話をしたい]
-Toi, m'a dit Papa, on ne t'a pas demandé ton avis. Si on te dit d'écrire, tu écriras !
Alors là, c'était pas juste ! Et j'ai dit que je n'avais pas envie d'écrire, et que si on ne me laissait pas téléphoner je n'en voulais pas, de ce sale jeu de l'oie, que de toute façon j'en avais déjà un qui était très bien et que si c'était comme ça, je préférais que M. Moucheboume donne une augmentation à Papa.
（J.-J. Sempé, R. Goscinny, *Le Petit Nicolas a des ennuies*, 1994）
「―おまえは，とパパはいう．お前には意見は求めていない．書けといったら書くんだ！
そんなのずるいや！と僕はいった．僕は手紙なんか書きたくないし電話させてくれないんだったらこんなすごろくゲームなんていらないや．どっちみちいいやつを一個持ってるし，そんなんならムシュブームサンはパパの給料あげてくれたほうがよかったのに.」

3. 4. sale N

続いて冠詞を伴わない名詞句に現れる sale についてであるが，無冠詞の用例で最も多いのは名詞句が統語的に独立した形で現れる発話であり，人を侮辱する用法である．この場合も指示形容詞の場合同様，話者の感覚的な表現という側面が一層強いように思われる.

⑶ a. Sale prêtre !
（P. Artières, Vie et mort de Paul Gény, 2013）
b. - Sale con, le maudit-elle entre ses dents.
（C. Férey, *Mapuche*, 2012）
c. Sale Boche ! Sale Boche !
（B. Schreiber, *Un silence d'environ une demi-heure*, 1996）

3. 5. son sale N

そして最後に所有形容詞付き名詞句に現れる sale の例についてごく簡単に言及しておく．所有形容詞付きの名詞句に伴う sale は，指示形容詞名詞句，無冠詞名詞句に伴う sale のように，話者の N に対する嫌悪や軽蔑といった否定的な感覚を表出し，そしてその感覚が間接的にその所有者にも通じているように思われる.

⑷ a. les Britanniques continuaient leur sale guerre.
（S. Chalandon, *Retour à Killybegs*, 2011）
「イギリス人は汚い戦争を続けていた.」
b. Je hais leur sale peau, [...].
（A-.M. Garat, *L'enfant des ténèbres*, 2008）
「彼らの汚らわしい肌 [...] が憎い.」

指示形容詞，無冠詞，所有形容詞名詞句に伴う sale については稿を改めてより詳しく論じたい.

4. おわりに

以上、sale の様々な用法を観察しつつ，それらを関係づけて記述することを試みた．考察はまだまだ十分ではないが次のようにまとめておきたい．後置付加・属詞位置用法は概ね，「異物によってその本来のあるべき姿が損なわれた」N の状態を述べると理解できるように思われる．一方前置付加においては N が主体に影響を与える側面が強く現れる．その影響は主体にとって好ましくない（苦痛，気まずさ，おびやかし…）感覚である．また指示形容詞名詞句の場合，不定冠詞名詞句の場合に比べ sale は N を性格づけるというよりも感情の表出そのものを担っているという印象があるが，侮辱に伴う sale，所有形容詞名詞句に伴う sale とともに今後検討していく必要がある.

sale の意味記述そのものを精密化させる上で一つの鍵となるのは，N にかかる制約である．une sale toux「嫌な咳」に比べると un sale éternuement「嫌なくしゃみ」が不自然であることを指摘したが，こうした制約を集めることが sale の意味をより具体化する上で重要になってくる．別の例を挙げると sale の前置付加は individu や type とは相性が良いが homme や femme といった名詞はうまく結び付かない．同様に gosse や gamin は自然だが enfant は不自然である.

⑸ a. un sale type「嫌なやつ」
b. ? un sale homme「嫌な男」
⑹ a. un sale gosse「悪ガキ」
b. ?un sale enfant「悪い子供」

このことは必ずしも言語レベルのみの問題ではなく，よ

り意味論的な問題として検討する必要があるように思われる. こうした点も含め, 引き続き考察を行う予定である.

参考文献

Blinkenberg, A.（1933）, *L'Ordre des mots en français moderne*, deuxième partie, Copenhague, Munksgaard.

Franckel, JJ.（2005）, « De l'interprétation à la glose. Vers une méthodologie de la reformulation », in D'une langue à l'autre, actes du colloque de septembre 2002, Daniel Lebaud（ed.）, 51-78, Presses Universitaires de Franche-Comté.

Goes, J.（1999）, *L'adjectif : entre nom et verbe*, Duculot.

伊藤達也（2004）,「形容詞 bon の多義性の理解に向けて」『フランス語学研究』第38号 , 1-11.

Marengo, S.（2011）, *Les adjectifs jamais attributs. Syntaxe et sémantique des adjectifs constructeurs de la référence*, Duculot.

Schenedecker, C.（2002）, « Présentation : les adjectifs « inclassables », des adjectifs du troisième type ? », *Langue française* 136, 3-19.